

せいらい たんじょう きょうかい 聖霊によって誕生した教会

し と はたら
使徒の働き 2：1-4、41-47

1. 教会が誕生した時の様子です。()に入る正しい言葉を選んで書きこんでね。

《使徒の働き 2：1-4》

() の日になって、みなが一ヶ所に集まっていた。

すると突然、() から、激しい() が吹いてくるような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。

また、() のような分かれた舌が現れて、ひとりひとりの上にとどまった。すると、みな() に満たされて、御霊が話させてくださるとおりに、他国の() で話した。

(炎、 ことば、 五旬節、 風、 聖霊、 天)

2. 聖霊によって教会が誕生したときの出来事として、正しいと思うものに○をつけてね。

() エルサレムの市長さんを招いて、盛大にテープカットをした。

() 聖書の言葉を聞き、イエス様を信じて、3000人ほどの人が洗礼を受けた。

() ペテロがたくさんの魚をとってきて、みんなで食べてお祝いをした。

3. 教会って、どんなところだろう？想像しながら、暗唱聖句を書いてみよう。

使徒の働き 2章42節

()

きよ　　れい 聖　い　靈

し　と　はたら
使徒の働き　4：31－5：11

1. 聖靈に満たされた教会の様子として、正しいと思うもの2つに○をつけてね。

- () イエス様を信じた人たちは、自分たちのやりたいようにして、バラバラだった。
- () イエス様を信じた人たちは、心を1つにして互いに助けあっていた。
- () イエス様を信じた人たちは、助けあっていたので、貧しい人がいなかった。
- () イエス様を信じた人たちは、お金持ちばかりだったので、貧しい人がいなかった。

2. アナニヤとサツピラは、夫婦でごまかした献金をもってきました。どうしてそんなことをしたんだろう？そして本当はどうすれば良かったと思いますか？考えてみよう。

()

3. 聖靈は、きよい靈です。聖靈について、正しいと思うもの2つに○をつけてね。

- () 聖靈は、きよい靈なので、罪と罪をおかす人が大きい。
- () 聖靈は、罪はきらいですが、罪からきよめられることを願っています。
- () 聖靈は、私たちが隠している罪は知りません。
- () 聖靈は、全てを知っておられ、「ごめんなさい」と悔い改めをすすめます。

4. 暗唱聖句を書いてみよう！ 《第一ヨハネ1章9節》

もし、私たちが自分の()を言い表すなら、
神は()で正しい方ですから、
その()を赦し、
すべての()から私たちをきよめてくださいます。

ちから ステパノ～ゆるす力

使徒の働き 6:3、5、10-15、7:54-60

1. ステパノは、リーダーたちを助ける7人に選ばれました。どんな人が選ばれたのでしょうか？正しいと思うものに○をつけてね。(6:3)

そこで兄弟たち。あなたがたの中から、

}	1. 御霊 (聖霊)	と知恵とに満ちた
	2. 怒り	

評判の

}	1. 良い	人たち7人を選びなさい。
	2. 悪い	

2. ステパノは、議会に連れて行かれ、言ってもいないことを言ったと、嘘を言われました。その時のステパノは、どんな様子だったでしょう？正しいと思うものに○をつけてね。

- () 「そんなことは言っていない」と怒った。
() まるで御使いの顔のようにおだやかだった。
() 相手の話しがつまらないので、眠ってしまった。

3. ステパノは、自分に向かって石を投げてくる人々の罪がゆるされるように祈りました。どうして人々をゆるすことができたのだろうか？考えてみよう。

4. エペソ4章32節が暗唱聖句です。書いて覚えましょう！

バルナバ～^{なぐさ}慰めの子

使徒の働き 4:36、9:26-28、11:22-24、^{だいに}第二テモテ 4:11

1. 「バルナバ」の本名は「ヨセフ」でしたが、みんなからニックネームの「バルナバ」って呼ばれていました。「バルナバ」ってどういう意味だろう？正しいと思うものに○をつけてね。

- () なぐられる子
- () ^{なぐさ}慰めの子
- () バナナが好きな子

2. () に入る正しい言葉を選んで書きこんでね。

- バルナバは () に満たされていたから、
人を慰めたり、励ましたり、助けることができました。

[天使、 聖霊 (せいれい)、 悪霊 (あくれい)、 ビタミンC]

- バルナバは、みんなから恐れられていた () を、
みんなの前につれていき、
彼がだいたんに () を伝える人になったことを説明しました。
またパウロが連れていかないといい () と一緒に、
キプロス島へ伝道に行きました。

[マルコ、 ペテロ、 イエス様、 サウロ、 ゴリアテ]

3. ^{あんしょうせいく}暗唱聖句を書いてみよう！

使徒の働き 11 章 24 節

かれは、() な人で、() と () に満ちて
いる人であった。こうして、^{おお}大ぜいの人^{ひと}が^{しゅ}主に^{みちび}導かれた。

ちから あい つつし テモテ～力と愛と慎み

テモテへの第2の手紙 1：7～8

1. 聖霊は、おくびょうを与える霊ではありません。おくびょうではなくなるって、たとえばどんなことだろう？ 正しいと思うもの〇をつけてね。

- () 嫌いだったピーマンを食べられるようになること
- () 今までは恥ずかしかかったけど、友だちにイエス様のことを伝えること
- () できなかった逆上がりができるようになること

2. 聖書の言葉です。() に正しい言葉を入れてね。(第二テモテ1：7)

■ 神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、

() と () と () との霊です。

3. 聖霊が与えてくれる「力」と思うものに☆、「愛」と思うものに◎、「慎み」と思うものに◇をつけてみよう！

- () おやつを全部ひとりで食べたいけれど、
がまんして弟にもわけてあげる。
- () 仲間外れになっている人がいました。声をかけたりすると自分が仲間外れになるかもしれません。それでも恐れないで友だちになりました。
- () 教会に行っていることを友だちに話すのはちょっと恥ずかしいけど、イエス様のことを話して、教会にさそう。

4. 「力」と「愛」と「慎み」の中で、今の自分に必要だなあと思うものはなんですか？
下の「 」書いて、神様に祈って求めてみましょう。

神様、わたしに聖霊の「 」を与えてくださると信じます。アーメン